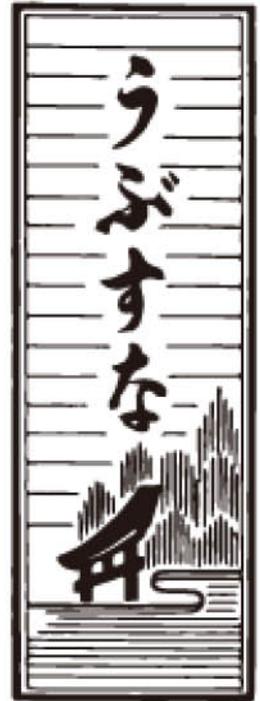


天皇皇后両陛下下行幸啓



令和6年10月14日 岐阜県庁前



発行所 岐阜県神社庁
岐阜市藪田南3-8-24
TEL 058-273-3525
FAX 058-273-9927
<http://www.gifu-jinjacho.jp/>

印刷 (有) エムシー
岐阜市本荘西4-12-1
TEL 058-253-5931

新年の御挨拶



岐阜県神社庁 庁長 **本郷 啓介**
(金神社宮司)

新年明けましておめでたうございます。

先づもって、皇室の御安泰と国家の繁栄、斯界の隆昌を心より祈念いたします。

昨年、八月三十日開催の臨時協議員会に於いて、図らずも庁長に選任いただきました。素より浅学非才ではありますが、その職責の重さと皆様の負託に応へるべく、職務に邁進してゆく所存で御座います。何卒、ご協力・ご鞭撻を賜りますやう、お願ひ申し上げます。

さて、本年六月上旬には愈々第六十三回神宮式年遷宮の始まりとなる「御樋代木奉迎送」の儀が実施されます。御用材を伐り出す山を「御杣山」と云ひ、江戸時代初期に、良質な檜を育む木曾山が指定されて以来、現在に至るまで、この地から御用材が伐り出される

伝統となつてゐます。

御杣山始祭の後、最初に伐り出される御用材は「御樋代木」と称し、御神体を納める宮を造る材となることから、特に「御神木」と尊び、各地で神事や奉迎送行事を営みながら伊勢へと奉搬されます。

我が国の伝統文化に造詣の深い明治天皇の御製

神風の伊勢の宮ゐのみやはしらたてあらためむ年はきにけり

に、神宮式年遷宮に寄せる思召しを窺ひ知ることが出来ます。

私共、東海地区の神社関係者がかうした重要な行事に携はる喜びを噛みしめつつ、御樋代木が盛大に奉搬されますやう、皆様のご理解・ご協力を重ねてお願ひ申し上げます。

総代会長挨拶



岐阜県神社総代会

会長 桑原 善吉

(伊奈波神社総代)

新年明けましておめでたうございます。令和七年乙巳の新春を寿ぎ、皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年は新年早々の能登半島震災に始まり、株価が三十四年ぶりの最高値を更新したと思へば、八月に大暴落。同月には東南海地震の警戒情報が初めて発表され、震災への備へを新たにしたところでした。

十月に石破新総理が誕生した八日後には衆議院解散が発表され、選挙の結果は周知の如くです。まさしく甲辰の昨年は万物が激しく振動した年でした。

その様な中でも、秋に開催された「清流の国ぎふ文化祭」に、即位後初めてご来訪下さった天皇皇后両陛下が、県民に親しく

お声掛け下さった事は幸甚の極みです。

乙巳の年は、困難があっても再生と変化で確実に前進してゆく年ださうです。たゆまぬ努力で新境地を見出してまゐりませう。

さて、個人的な昨年の挑戦をご披露します。仲間内で茶道を嗜んでをりますが、昨秋の茶会で私が濃茶を点てる事となり、夏から猛特訓の日々となりました。無作法な私の場合、

何が大変かを一つ挙げれば、長時間の正座です。薄茶以上に手数が增える濃茶作法ですから、手順を間違へぬ様に慎重に進めますが、足の指

先がピクピクし始めると、緻密な手捌きが危くなります。お道具を両手に持つて立ち上がるなど至難の業。慣れぬ着物姿に、痺れた足捌きで

したが、ご同席下さった皆様に、何かお茶を振舞ふ事が出来ました。折角覚えた茶道のお手前、家族にも濃茶を点でて、大いに自慢しやうと思ひます。さて皆様は今年、新たに何に挑戦されますか？

結びに、県内各神社のご隆盛と総代・役員・神職各位の益々のご健勝を心より祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

混迷する時代へ



神道政治連盟岐阜県本部

本部長 谷田 吉暢

(桜山八幡宮宮司)

新春を迎へ、聖寿の万歳と皇室の弥栄をお祝ひ申し上げ、神宮をはじめ県内に鎮座する神社のご社頭

の繁栄と氏子崇敬者及び本会会員の健勝をお祈り申し上げます。本郷啓介前本部長のご勇退により、後任本部長に選任いただきました。浅学非才で、前本部長には、

全く足元にも及びませんが、微力ながらも、日本の麗しき国柄を制度として保つことができるやうに、中央本部と連携を取りながら、本会活動に努めたいと存じます。県内会員はじめ、神社関係者の皆様には、一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

昨秋の衆議院議員選挙には、本会推薦の議員二名が当選されました。今後のご活躍を大いに期待す

るところです。本年の参議院議員選挙には、比例区に有村治子氏を推薦することが決まっています。昨年の厳しい結果を踏まへて、本年の選挙には、県内関係者各位から、格別のご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

皇室の尊厳護持、靖國神社はじめ全国護国神社の英霊祭祀、家庭のあるべき姿を制度としても保たれる社会の構築等に向けて、活動される議員の応援を推進したく存じます。

県内会員及び神社関係者の皆様には、倍旧のご支援・ご厚情をお願い申し上げますと共に、各位のご健勝を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



就任挨拶



岐阜県神社庁

副庁長 上月 智也

(南宮大社宮司)

新年明けましておめでたうございます。

昨年、九月一日付を以て副庁長を拝命する事となりました。素より未熟な身でありますので、過分の光栄と感謝致しますと共に、職責の重大さを痛感してをります。至誠を尽くし、県内各社の御神徳の宣揚に励み、神社神道の更なる隆昌のために精励する所存でございます。先達の皆様には、これまでと変はらぬご指導、ご鞭撻を賜りますやうお願い申し上げます。さて、昨今の社頭の様子を見てをりますと、コロナ禍以前に比べて、神社への信仰・想ひが希薄になつたのではないかと感じる場合がございます。祭祀の縮小等については、全国各所で耳にするやう

になりました。また、県内においても、過疎による氏子減少のために祭祀の斎行が困難になるなど、曾ては考へられなかつた状況も多くなりしました。微力ながらも、かういった問題の解決の一助となれますやう、神明奉仕に努めて参ります。

今年六月には第六十三回神宮式年遷宮御樋代木奉迎送が行はれます。二十一年に一度の重義に臨んで、副庁長の職務を重く受け止め、尽力して参ります。御神木が岐阜県内を巡る中で、盛大に奉祝し、無事にお送りできますやう、また、この行事を通じて、神宮への信仰を高め、万世一系の皇室に対する敬慕の念が一層深まりますやう、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びに、県内各社の御隆昌と神社関係者各位の、益々の御健勝、御平安を心より祈念申し上げます。



天皇后両陛下岐阜県行幸啓 提灯で奉迎

十月十四日から十五日にかけて、天皇后両陛下が岐阜県を行幸啓あそばされました。

十四日の午後六時三十分より、

岐阜グランドホテル前の長良川河川敷広場に於いて、

天皇后両陛下岐阜県奉迎委員会主催による『「清流の国」ぎふに天皇后両陛下をお迎えするつどい』が開催されました。県内神社関係者は一六七名が参加しました。

奉迎委員会会長村瀬幸雄氏(岐阜県商工会議所連合会会長)、県知事古田肇氏の挨拶に続き、吹奏楽や太鼓演奏が開幕を飾りました。

午後七時三十分頃より、全ての照明を落とし、提灯のみに明かりを灯し、提灯を縦横に振って両陛下を奉迎し、両陛下は、それに合はせて提灯で御答礼されました。締め括りに万歳三唱を行ひ、閉会となりました。

天皇陛下より「多くの皆さんに提灯で迎へていただき、感謝いたします。金華山を背に、長良川の

流れとともに眺める提灯の灯りはとてもきれいでした。皆さんの万歳の声もよく聞こえ、うれしく思ひました。気を付けてお帰り下さい。どうもありがたう。」とお言葉を賜りました。



役員改選報告

令和六年度は三年に一度の役員改選が行はれる年である。

県神社庁・県総代会・神道政治連盟岐阜県本部の役員は、それぞれ下記のとおり選任された。

新役員報告(敬称略)

◎岐阜県神社庁 八月三十日臨時協議員会

- 【序長】本郷 啓介 岐阜市 金神社宮司
- 【副序長】谷田 吉暢 高山市 桜山八幡宮宮司
- 上月 智也 不破郡 南宮大社宮司
- 【理事】桑原 善吉 岐阜市 伊奈波神社役員
- 洲岬 孝雄 高山市 日枝神社総代
- 林 康司 岐阜市 加納天満宮宮司
- 高田 義彦 安八郡 日吉神社宮司
- 可児 大喜 武儀 水無神社宮司
- 中山 征治 瑞浪市 白山神社宮司
- 天木志乃夫 吉城郡 気多若宮神社宮司
- 服部 哲夫 美濃市 八幡神社宮司
- 栗山 裕久 関市 神明神社宮司
- 黒田 正直 土岐 八幡神社宮司
- 牛丸 大吾 大野 飛驒一宮水無神社宮司
- 伊藤 治夫 羽島 野々宮神社宮司
- 後藤 直剛 岐阜市 伊奈波神社総代
- 【副議長】日比野良和 山県市 天鷹神社宮司



岐阜県神社庁 序長 本郷 啓介

◎岐阜県神社総代会 七月十九日総代議員会

- 【会長】桑原 善吉 岐阜市 伊奈波神社役員
- 【副会長】洲岬 孝雄 高山市 日枝神社総代
- 丹羽 豊次 不破郡 南宮大社役員
- 【理事】可児 謙典 岐阜市 天神神社役員
- 山田 博司 岐阜市 金神社総代
- 伊藤 松壽 高山市 飛驒総社総代
- 生田 建治 多治見 多度神社総代
- 小池 憲和 中津川市 津島神社総代
- 青木平七郎 羽島 八幡神社総代
- 伊藤 浩 海津市 今尾神社役員
- 上野 賢二 安八郡 八幡神社役員
- 板倉 重雄 郡上市 白山神社役員
- 三木 彰 大野 飛驒一宮水無神社総代



岐阜県神社総代会 会長 桑原 善吉

◎神道政治連盟岐阜県本部 九月十三日臨時代議員会

- 【本部長】谷田 吉暢 高山市 桜山八幡宮宮司
- 【副本部長】伊藤 治夫 羽島 野々宮神社宮司
- 上月 智也 不破郡 南宮大社宮司
- 【幹事長】牛丸 大吾 大野 飛驒一宮水無神社宮司
- 高橋 雅彦 岐阜市 日吉神社宮司
- 【副幹事長】高橋 雅彦 岐阜市 日吉神社宮司
- 中川 幹彦 大垣市 八幡神社宮司
- 栗山 裕久 関市 神明神社宮司
- 瀬戸 邦彦 可児 八幡神社宮司
- 瀬戸 邦彦 可児 八幡神社宮司
- 細江 雅紀 高山市 飛驒天満宮宮司
- 【議長】服部 哲夫 美濃市 八幡神社宮司
- 井戸 亨 美濃加茂市 古井神社宮司
- 【副議長】平澤 克典 郡上市 七代天神社宮司



神道政治連盟岐阜県本部 本部長 谷田 吉暢

神宮大麻暦頒布始奉告祭・
神殿祭・協議員会

十月三日、神社庁神殿に於いて、神宮大麻暦頒布始奉告祭・神殿祭が厳粛に斎行された。斎主は谷田吉暢副庁長が務めた。本郷啓介庁長より、桑原善吉総代会長と各支部長に神宮大麻及び暦が頒たれた。祭典後、神宮大麻頒布表彰伝達を行ひ、頒布に貢献のあつた神職及び支部が表彰された。

神宮大麻頒布表彰（敬称略）

・特別表彰

南宮大社 宮司 上月智也

・支部表彰

益田支部

関支部



本郷啓介 庁長
益田支部長 益田清男
関支部長 栗山裕久
総代会長 桑原善吉

引き続き、神社庁研修室に於いて、協議員会が開催された。令和五年度事業報告・決算報告が上程され、協議の結果、可決・承認された。

令和五年度
岐阜県神社庁歳入歳出決算

令和五年七月一日～令和六年六月三十日

【歳入の部】	
1	幣 帛 料 877,000円
2	交 付 金 129,818,100円
3	神 殿 初 穂 料 65,000円
4	負 担 金 34,081,966円
5	財 産 収 入 921円
6	諸 収 入 20,271,400円
7	前 期 繰 越 金 12,098,764円
	歳 入 合 計 197,213,151円

○差引残金 15,895,159円(次年度へ繰越)

【歳出の部】	
1	幣 帛 料 2,894,000円
2	神宮神徳宣揚費交付金 49,238,107円
3	会 議 費 5,095,958円
4	神 事 費 2,763,693円
5	庁 費 46,128,741円
6	事 業 費 23,118,481円
7	負 担 金 39,029,012円
8	積 立 金 13,050,000円
9	予 備 費 0円
	歳 出 合 計 181,317,992円

国民精神昂揚運動
地区神社関係者大会・総会

八月五日から九日にかけて、国民精神昂揚運動の一環である地区神社関係者大会・総会が、東濃・西濃・飛驒・中濃・岐阜の順に開催された。担当支部は多治見・不破郡・吉城郡・美濃市・岐阜市であった。講演には、近畿大学法学部教授の田近肇氏を招聘した。演題は「宗教法人に関する近時の立法・行政の動向」であった。

講演後の大会では、地区それぞれ次第によって、神宮遙拝、敬神生活の綱領唱和、挨拶、功労者表彰、宣言決議、万歳三唱等が行はれた。

- 八月五日 東濃 多治見支部
- パロー文化ホール 二五四名
- 八月六日 西濃 不破郡支部
- 大垣フォーラムホテル 三九一名
- 八月七日 飛驒 吉城郡支部
- 高山市民文化会館 三四九名
- 八月八日 中濃 美濃市支部
- 美濃市文化会館 三二八名
- 八月九日 岐阜 岐阜市支部
- 伊奈波神社 一一〇名
- 総計一、四三二名

能登半島地震神社義捐金を
石川県へお届け

神社本庁の能登半島地震による神社義捐金募集では、県内より六、七五五、七二二円の協力をいただき、三月末日の募集期間終了後に神社本庁へ送金した。

募集期間終了後の四月から八月末日までの間にも、県内より更に七、七九〇、八八八円の協力があり、令和六年九月二十七日、庁長と参事が石川県神社庁にお届けした。

被災神社及び被災者各位に衷心よりお見舞ひ申し上げますと共に、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



神社義捐金目録を手交
石川県 北村嘉章庁長 (左)
岐阜県 本郷啓介庁長 (右)

岐阜県神道振興会

令和六年度研修会

(中濃地区・飛騨地区・東濃地区)

会長 宇都宮 宗平

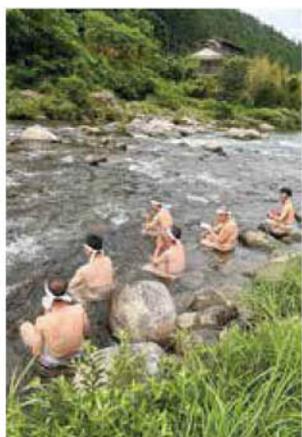


岐阜県神道振興会では、祭式、教養などの研修会を始め、国旗掲揚啓蒙活動、神社清掃奉仕等の教化事業も、地区が主体となって執り行つてゐる。また、今その地区の会員や神社にとって必要だと感じる事等について、特色有る事業を展開してゐる。昨年度より他地区の事業にも参加が出来るやう、案内を会員へ送り、地区が主体となつた県合同事業を本年も行った。中濃地区では、六月十一日に研修旅行を行った。奈良県桜井市の

七月二十七日、二十八日には、飛騨高山まちの博物館研修室に於いて「飛騨の國神社御朱印展」を開催し、飛騨地域の神社



おたみ 大神神社にて正式参拝の後、権宮司の平岡昌彦氏、権禰宜の野々村篤志氏にご講話を頂いた。三輪山をご神体とする信仰により、氏子、崇敬会以外にも様々な「講」があり、多くの参拝者を滞りなく受け入れる神社環境の整備など、学びの多い研修となつた。飛騨地区では、七月五日に、飛騨天満宮で夏期研修会を行ひ、社寺検索サイト「ホトカミ」を運営する株式会社DO THE SAMURAI代表取締役吉田亮氏を講師として「百年後に神社を残すために」をテーマにご講話頂いた。月間百万人の神社ファンが集ふホトカミのデータによつて、参拝者の声や情報発信の重要性について講話頂き、また、具体的なSNSの活用方法を説明頂いた。



三十三社(摂末社を含む)の御朱印を展示した。県振興会のホームページ等で広報を行った。東濃地区では、七月二十六日、二十七日に夏期研修会を東白川村神田神社にて行った。正式参拝の後、禊行法について研修を行ひ、翌日早朝には、近くの川にて禊行法を行ひ、神社清掃の後「献饌・撤饌」の作法を学ぶ祭式研修を行った。また一日目の夜には会員と先輩一堂の懇親会を行ひ、振興会の目的でもある相互研鑽と親睦を深める有意義な研修となつた。同じ岐阜県内ではあるが、気候や地勢、人口、産業等、神社を取り巻く環境の違い、更には、私ども神職に於いても、年齢、性別、常駐か非常駐かなど様々な違いがあるため、地区毎の事業に参加して交流することで、その地区で必要とされてゐること、解決しな

ればいけないこと、地区の強み、また、奉務神社の強み等、本研修によって多くの事を学び、考へることができた。岐阜県女子神職会では、七月二十九日に岐阜市加納天神町の加納天満宮にて、総会並びに研修会を行った。十八名の出席があつた。研修会では、岐阜市敷島町の本庄神社今津隆弘宮司を講師にお迎へして、「神社にいかん足運んでもらうのか」〜幸せ祈願の宮本庄神社の教化活動から〜と題するご講演を拝聴した。「神社は地域の守り神。親しみある存在とするべく、神社の社頭の手入れを怠らず、神社のファンをつくる取り組みが肝要。神社が栄えるといふことは、地域の繁栄の証左。神社は「生きもの」。いかに手をかけるか。手をかければ、神社が栄える。氏神様を敬ひ、一生懸命務める。」このやうな考へに基づいて、様々な活動を地域住民と盛り立てて来られた功労に敬服した。具体的な

岐阜県女子神職会活動報告

会長 服部 直美

教化活動の説明は、とても参考になった。

祭祀舞勉強会は、九月四日、五日に加納天満宮にて開催し、浦安の舞と豊栄の舞の研鑽を行った。両日とも二十数名の参加者があった。



全国女子神職協議会設立三十五周年記念大会が、七月十八日に伊勢市の神宮会館で行われた。内宮御垣内参拝後の式典では、福山泰江会長が式辞で「『研修と親睦』といふ二つの柱を以て女子神職の輪をさらに拡げたい。」と述べられた。その後、皇學館大学名誉教授桜井治男先生による「倭姫命のご巡幸から学ぶこと」と題した記念講演を拝聴した。様々な文献によって、天照大御神を伊勢の地に奉戴し、神宮を創祀された皇女倭姫像を知ることができた。倭姫宮ご鎮座百周年の翌年に行はれた貴重な講演だった。

過疎地域神社活性化推進施策
指定神社 郡上市 白山中居神社
宮司 石徹白 洋子

白山中居神社は、標高七百メートルの白山国立公園の南山麓に位置し、郡上市白鳥町からは難所である松峠があり、福井からの県境についても冬季は閉鎖になるなど、厳しい交通環境にあります。また、六十年前に福井県から岐阜県に合併したといふ特異な歴史を持った地域の神社であります。



平成二十六年には氏子世帯数百五、氏子数二百六十七人でしたが、令和六年には氏子世帯数九十八、

氏子数二百六人と過疎化が進む中、祭祀の維持が難しくなってきました。



そこで、これについて、令和六年の春季大祭の神輿渡御の輿丁をフェイスペインクで募集したところ、全国から十二名が遠路駆けつけて下さいました。それ以前の三月末の雪囲ひの撤去と雪かきの奉仕に

も二十五名の方々にご奉仕いただきました。

活性化推進施策としての募集でしたが、運よく新聞にも掲載され、広報力の凄さに驚きました。そこで、このことを踏まえて、一年目の施策では、電話がない当神社の広報として、ホームページを開設し、神社の行事予定、正式参拝や祈祷の予約方法、道路情報などを解り易くお伝えすることから始めました。

ホームページには、当社の事だけでなく、郡上市支部内の神社についても順番で紹介するなど、この機会を大切に、活性化に向き合っています。

謹賀新年 令和7年

Table listing various organizations and their representatives, including 岐阜県神社庁, 神道政治連盟岐阜県本部, 岐阜県神社総代会, and various branches like 瑞浪市支部, 美濃市支部, etc.

Main table listing 24 branches (e.g., 各務原市支部, 山県市支部, 吉城郡支部) with their respective branch heads and vice heads.

皇紀2685年

新年 互 礼

<p>岐阜市御手洗三九三番地</p> <p>岐阜護國神社</p> <p>電話〇五八二六四四三二 二六四二七八一</p>	<p>高山市一之宮町五三三番地</p> <p>飛驒一宮水無神社</p> <p>宮司 牛丸 大吾</p> <p>電話〇五七七五二二〇〇一</p>	<p>不破郡垂井町宮代一七三四番地の一</p> <p>南宮大社</p> <p>宮司 上月 智也</p> <p>電話〇五八四二二二二三五</p>	<p>岐阜市伊奈波通一丁目一番地</p> <p>伊奈波神社</p> <p>宮司 可 知 重彦</p> <p>電話〇五八二六二五二一代 FAX〇五八二六二五二五三</p>	<p>高山市桜町一七八番地</p> <p>桜山八幡宮</p> <p>電話〇五七七三三二〇二四〇</p>
<p>岐阜市金町五丁目三番地の一</p> <p>金神社</p> <p>宮司 本郷 啓介</p> <p>電話〇五八二六二二二六代 FAX〇五八二六二二八六五</p>	<p>岐阜市加納天神町四丁目一番地</p> <p>加納天満宮</p> <p>宮司 林 康司</p> <p>電話〇五八二七二〇七〇六</p>	<p>岐阜市長良一九七二一</p> <p>天神神社</p> <p>宮司 林 清和</p> <p>電話〇五八二二二七七〇三 FAX〇五八二二二二五六六</p>	<p>大垣市西外側町一丁目一番地</p> <p>八幡神社</p> <p>宮司 中川 幹彦</p> <p>電話〇五八四七八四九七七</p>	<p>大垣市荒尾町字南瀬古二二八三番地の一</p> <p>御首神社</p> <p>宮司 三浦 篤</p> <p>電話〇五八四九一三七〇〇</p>
<p>関市南春日町一番地</p> <p>春日神社</p> <p>宮司 伊佐地 金嗣</p> <p>電話〇五七五二二〇五七〇</p>	<p>関市貴船町二十番地</p> <p>貴船神社</p> <p>宮司 玉岡 正臣</p> <p>電話〇五七五二二二三〇九二</p>	<p>土岐市泉町久尻七八四番地</p> <p>久尻神社</p> <p>宮司 井口 進二</p> <p>電話〇五七二五五三九九五</p>	<p>多治見市笠原町二九〇〇番地の一</p> <p>笠原神明宮</p> <p>宮司 黒田 和朗</p> <p>電話〇五七二四三二二二五</p>	<p>土岐市妻木町三〇五一番地の一</p> <p>八幡神社</p> <p>宮司 黒田 正直</p> <p>電話〇五七二五七六四四一 FAX〇五七二五八〇〇五七</p>
<p>美濃市須原四六八番地の一の一</p> <p>洲原神社</p> <p>宮司 五十嵐 義郎</p> <p>電話〇五七五三二二二六三</p>	<p>加茂郡白川町水戸野一〇九六番地</p> <p>大山白山神社</p> <p>宮司 安江 智之</p> <p>電話〇五七四七六二二二三</p>	<p>飛驒市古川町上気多二二九七番地</p> <p>気多若宮神社</p> <p>宮司 天木 志乃夫</p> <p>電話〇五七七三二二五六八</p>	<p>高山市神田町二丁目一四番地</p> <p>飛驒総社</p> <p>宮司 堀之内 由人</p> <p>電話〇五七七三二二〇六八七</p>	<p>飛驒市神岡町船津一八二三番地の二</p> <p>大津神社</p> <p>宮司 結城 泰宏</p> <p>電話〇五七八二二〇二五四</p>
<p>美濃市大矢田二五九六番地</p> <p>大矢田神社</p> <p>宮司 眞清 辰也</p> <p>電話〇五七五三五〇一六五</p>	<p>可児市中恵土二二五九番地の一</p> <p>子守神社</p> <p>宮司 溝口 貴靖</p> <p>電話〇五七四六一五二二二</p>			

社寺建築◆御調度品◆御装束

神社・寺御用

株式会社 甲村

〒463-0075 名古屋市守山区新守西1608
電話代表 (052) 792-1202
F A X (052) 792-1293 JR新守山駅西

太鼓作り900有余年 本木製ならではの品格と質の高さは最上級

原木・原皮からの
一貫生産
工場直売



在庫豊富
各品速納
カタログ送付

諸太鼓製造元 津島神社他多数御用達
○神社・仏閣・教会用○雅楽・能楽用各種○祭礼用・舞台用・他

堀田新五郎 商店

☎(0567) 26-2412代

愛知県津島市下新田町5丁目123 FAX 24-7663
http://hottashingoro-taiko.com E-mail:shingoro@pony.ocn.ne.jp

建築部 国宝・重要文化財保存修理工事・社寺建築工事
屋根部 檜皮葺・柿葺・銅板葺 (屋根形木工事共)

田中社寺株式会社

代表取締役 田中敬二

(株)丸繁建築設計事務所

〒500-8483 岐阜市加納東丸町2丁目20
電話 (058) 272-2871代
※御見積書等・御一報次第参上致します。

【事業内容】 社寺建築設計施工・社殿製作・神棚・御堂舎製造販売
神祭具・内陳調度品・おみこし製造販売・レンタル神輿

古の伝統 受け継がれる技 築き上げた信頼



創業明治二十八年

株式会社 唐箕屋本店

〒500-8104 岐阜県岐阜市美園町3丁目4番地
TEL(058)263-3311 FAX(058)263-4300
http://www.tomiyahonten.com
E-mail info@tomiyahonten.com

神社・仏閣建築請負
設計施工、神棚、神具

(有)白鳳社寺

(旧 唐箕屋社寺工務店)

鶴工房一級建築士事務所 高崎勝則

岐阜市金園町4丁目3番地 電話(058)264-0068
https://hakuhouhaji.com



伊勢名物 赤福

本店
〒516-0025
伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0120-081-381
https://www.akafuku.co.jp

社殿・神棚・神祭具・御装束・製造販売

株式会社 富田神具

〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐1385番地
TEL(0584)22-5320 FAX(0584)22-5978
http://www.tomida-shingu.co.jp

神社・仏閣・灯笼・記念碑・
墓石・造園・他石材工事一式

JAいび川指定業者



松井石材

岐阜県揖斐郡大野町稲富2348
電話(0585)32-1114 FAX(0585)34-1196

神具 装束 大正七年 創業

助藤屋 助右衛門

〒509-1622 下呂市金山町金山2051
TEL 0576-32-2074 FAX 0576-32-2039

社寺一般建築請負
岐阜県伝統建築認定第3号

堀部建設株式会社

岐阜市芥見堀田57番地
TEL (058) 243-1715
FAX (058) 241-2567

社殿保存修理事業

多治見支部
多度神社 宮司 須永 啓之

多治見市平和町に鎮座する多度神社は、令和四年に市有形文化財に指定されたのを受け、令和五年十月二十四日から檜皮葺屋根の修復事業を実施し、令和六年十月十八日に完了した。翌十一月三日には本殿遷座祭を斎行した。

日本古来の伝統手法を用ゐるため、多治見市、名古屋工業大学、同麓和善名（ふもとよしな）誉教授、株式会社友井社寺の協力を頂いた。令和六年四月十四日に現場見学会を実施し、約八十人が参加した。当日は麓先生の説明に加え、檜皮葺の模型を



作って頂き、実際に竹くぎを打ったり、手斧（てのき）で屋根の形に整形する技を体験してもらひ、参加者は歓声を上げながら挑戦してゐた。

文化財の指定を受けた建築物は自動火災通報設備の設置が義務付けられる。当神社は林に囲まれてゐるが、五十坪以内に民家があるので、消防本部が現地を確認した結果、設置が必要と判断された。首里城等の火災を受けて、どのような火災でも早期に見つけることが出来るやうに、屋外には炎感知器を設置することになった。



支部神宮大麻曆頒布始祭
神道政治連盟支部総会

関市支部

十月二十八日、アピセ関多目的ホールを会場に、令和六年度関市支部神宮大麻曆頒布始祭及び神道政治連盟支部総会が執り行はれた。コロナ禍以前には、金幣社貴船神社を会場として、支部八十社の役員に参列を募つて行つてきたが、過密を避けるため、昨年度からこの広い会場に変更して、神籬（ひもぎ）祭祀にて行つてゐる。

参列は、神職、役員、総代、合はせて六十名程で、来賓に神社庁理事服部哲夫氏（美濃市支部長）をお招きし、厳粛に執り行はれた。引き続き、神道政治連盟支部総会を行ひ、支部長挨拶に続いて、来賓の県本部役員服部哲夫氏より、神道政治連盟の活動意義、活動状況について講話をいただき、特に前日に衆議院議員選挙も行はれたため、選挙候補者の推薦条件を詳しく説明していただいた。また、配付資料の推薦候補有村治子参議院議員の選挙が来夏に控へてゐる

ことも伝えていただいた。

これにより、日頃の支部会員の「神道政治連盟とは何か?」といふ疑問に、答へるこ

とが出たの
ではな
いかと
思はれ
る。



令和五年度
氏子総代・神職合同研修旅行
身曾岐神社を正式参拝

中津川市支部
諏訪神社 宮司 荻野 正道

中津川市支部では、研修旅行委員会を設置してゐる。委員は、十七部会の中から、神職三名、氏子総代会長六名を選出し、伊勢神宮新穀感謝祭への参加取りまとめ、一月の新春伊勢参宮実施支援、また、コロナ禍で、中止してゐた氏子総

代・神職合同研修会(研修旅行)を昨年度より行っている。

令和五年度の研修旅行は、六月九日、十日の一泊二日で行った。この研修旅行には神職十三名、氏子総代五十三名の計六十六名が参加し、初日は山梨県北杜市小淵沢町の身曾岐神社を正式参拝した。この神社では「身曾岐祓」や、「みそぎ修行」を行ってゐる。

正式参拝後、日下部成浩宮司から境内の説明を受け、施設見学を行った。身曾岐は「禊」のことで、みそぎを行ふことで、心身が清らかになり、人生の好転にも繋がる。昼食の後、甲府市に移動し、武田信玄ゆかりの甲斐武田神社を自由参拝した。

ホテルの夕食では、身曾岐神社の御神酒を酌み交はし親睦を深めた。翌日は、七年毎に行はれる御柱祭の「木落し」で有名な諏訪大社上社(本宮)と下社(春宮)を参拝した。諏訪大社は、四社(上社の本宮と前宮、下社の春宮と秋宮)とも本殿を持たないといふ大きな特徴があり、それぞれ神木や山をご神体としてゐるため、拝殿から望む景色に注目しながら参拝した。

「参加者の感想」

・立派な神殿を整へた身曾岐神社と、バックの森林を神域として神殿を持たない諏訪大社のコントラストが印象的だった。神社の形も色々あることを研修で学べた。



・地域の神社関係者が一堂に会して情報交換でき、よい機会だった。バスの中や夜の宴会で親睦が深まり、今後の支部の活動や行事で会ったときに気軽に話せる。今後も研修旅行委員会を中心に、充実した研修旅行の実施に取り組んでいきたい。

令和六年度岐阜県金幣社会開催
郡上市支部

十月二十二日、郡上市支部が当番となり、本郷庁長をはじめご来賓を含めて総勢百十三名の参加のもと、令和六年度岐阜県金幣社会を開催した。岸剣神社での正式参拝の後、郡上八幡ホテル積翠園に

会場を移し、講演会及び式典を開催した。

講演会では、講師に中濃史談論会会長の高木和泉氏をお招きし、「「国のこころ」を求め続けた人山川弘至」と題してご講演をいただいた。郡上市旧高鷲村に生まれた山川氏は、大東亜戦争の最中、台湾での訓練を受ける中で、古事記を解釈し、叙事詩にまとめた「日本創世叙事詩」を著した。彼の生ひ立ちと、二十九歳で爆撃により戦死した彼の遺作であるこの作品についてのお話の中で、彼の生き方が、情熱のこもった素晴らしいものであると感じた。



式典後の懇親会では、八幡おは

やしクラブによる「ユネスコ無形文化遺産・郡上おどり」を楽しみながら、懇親を深めていただき、最後は万歳三唱で収めた。参加いただきました皆様、ありがとうございました。

支部神宮大麻暦頒布始奉告祭
支部神社関係者大会
加茂郡支部
潮南神社 宮司 長谷部 敏行

山々が色付き始める晩秋の十月二十五日白川町町民会館において丹羽雅芳副支部長(坂祝神社宮司)齋主の下、支部神宮大麻暦頒布始奉告祭を厳粛に執り行った。管内神職総代約百七十名が参集した。



引き続き、岐阜県神社庁理事・土岐支部長の黒田正直氏を講師にお招きし、「地域社会と神社の役割」と題して約一時間のご講演をいただいた。「地域の中で神社をどう護持して

いくのか、神社は地域社会の中心にあるべき存在とか、歴史上、著名な坊さんが多くゐるのに神主さんは？なぜ？」など具体的な事例を挙げての話があり、出席者は幾度となくうなづきながら話に聞き入ってゐた。

加茂郡支部神社関係者大会では参議院議員、県議会議員、地元白川町長並びに町議会議長を来賓にお招きし、神社に功労があつた個人十七名、四団体に対して感謝状が贈呈された。終はりに皇室の益々の弥栄を祈念して聖寿の万歳にて幕を閉じた。会館には爽やかな風が吹き込んでゐた。

神職・総代研修会開催

益田支部 支部長 熊崎 清男

十月六日、下呂市萩原町の羽根中央公民館にて、「神職・総代研修会」を開催し、「献饌・撤饌及び玉串拝礼の作法(実技)」と「責任役員のとつとめ(座学)」について研修した。益田支部も小規模の神社が多く、神社運営、祭典における総代の存在は必要不可欠である。今回の研修は即実践につながるという

ふこともあり、神職・総代合はせて百名ほどの参加があつた。少しでも作法を身に付けていただけやう、参加者を少人数のグループに分け、本支部教化部長の加藤重弘神職と補助神職が講師となり、研修を進めた。

実技では、三方の持ち方や渡し方、歩行、小揖の意味やタイミング、玉串の持ち方、奉り方など具体的な内容となつた。参加神職も総代からの質問に答へながらの研修会となり、神職にとつても勉強になる研修となつた。

「今日学んだことを各神社で実践につなげるやう努めていきたい」と話す総代も多く、今後の祭典や神社運営に活かされることを願ひながら研修を終了した。



飛騨地区神社関係者大会

吉城郡支部

八月七日、高山市民文化会館に

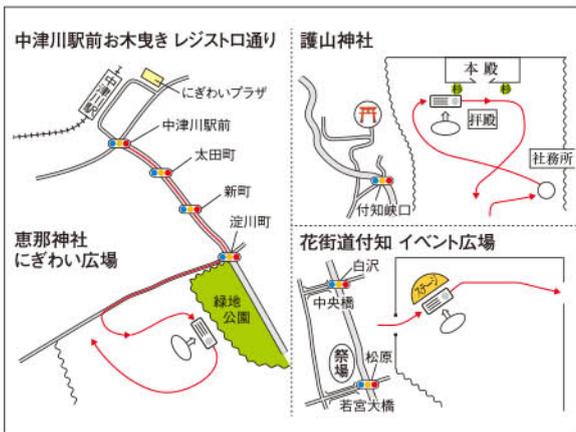
において、飛騨地区の神社関係者が集ふ大会を開催した。大会に先立ち、近畿大学教授、田近肇先生による講演をいただいた。

演題は「宗教法人に関する近時の立法・行政の動向」であつた。日本国憲法は思想・信条・信仰の自由を認めてきたが、それ故に反社会的なカルト集団と政治の関係に歪みが生じてゐるといふことを、わかりやすく説明していただいた。

講演後の大会では、神宮遥拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領唱和に続いて、長年に亘つて功労があつた十八名の方々の表彰を行ひ、庁長挨拶、来賓祝辞、被表彰者謝辞があり、最後に聖寿万歳で大会を締め括つた。



御 神 木 奉 迎 送 (予 定)



◆行程内容ならびに祭事(予定)

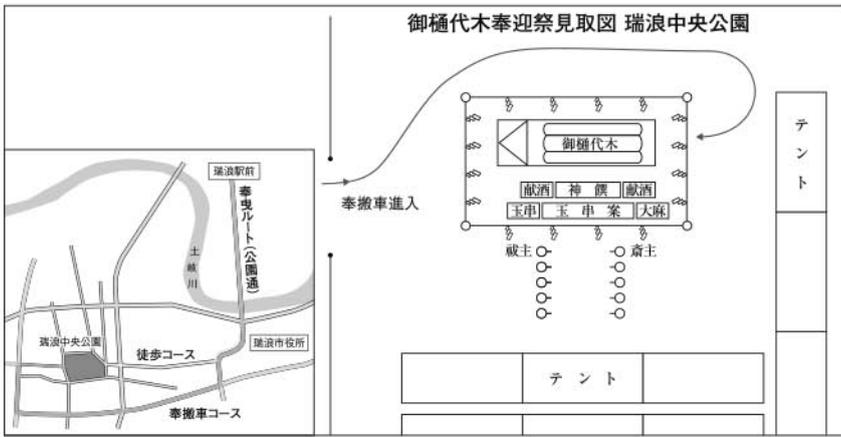
グループ	日	時間(仮)	行程	行事ならびに神事
付知	6/5(木)	20:00	護山神社奉安祭	1 奉安祭 2 奉賛行事 3 夜警
	6/6(金)	7:00	護山神社奉送祭	1 奉送祭 2 お木曳 (街中街道筋からにぎわい広場)
福岡	6/6(金)	9:30	花街道付知お木曳	1 奉賛行事 2 挨拶祝辞
		11:00	福岡総合事務所奉迎送祭	1 奉迎送祭 2 奉賛行事
苗木	6/6(金)	13:00	苗木元起奉迎送祭	1 奉迎送祭 2 奉賛行事
中津川	6/6(金)	14:30	中津川駅前お木曳	1 お木曳 (駅前からにぎわい広場)
		16:00	にぎわい広場奉安祭	1 奉安祭 2 奉賛行事 3 挨拶祝辞 4 夜警
		6/7(土)	7:00 8:00	にぎわい広場奉送祭 出発>瑞浪

奉賛行事について全場所で行われる内容
1. 木遣音頭 2. おんぼい節 3. 餅撒き 4. その他(イベント)

中津川市

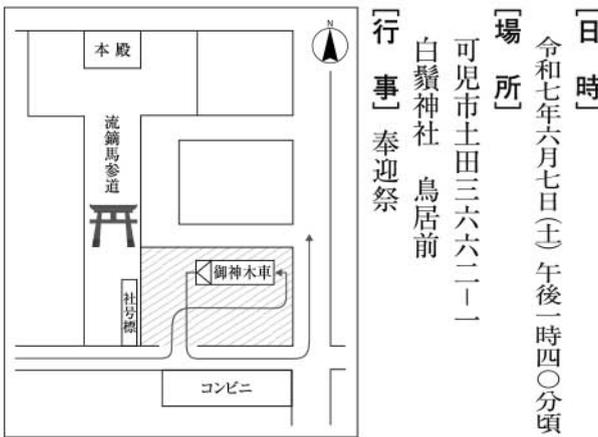
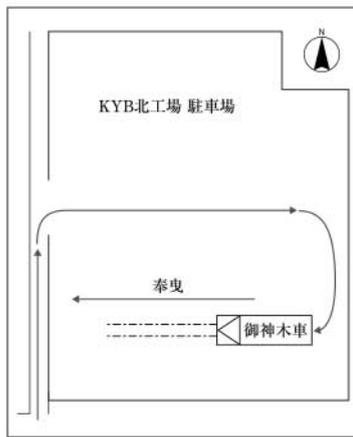
瑞浪市

令和七年六月七日(土)午前九時、瑞浪駅前に御樋代木をお迎へし、瑞浪市・土岐・多治見の三支部の奉賛会員千三百名(予定)により、公園通り八百mを奉曳します。瑞浪中央公園に移動し、午前十時三十分から奉迎祭を斎行します。祭の後、正午に次に向けて奉送します。



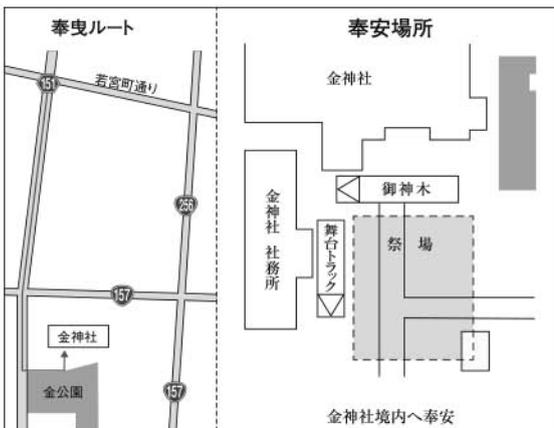
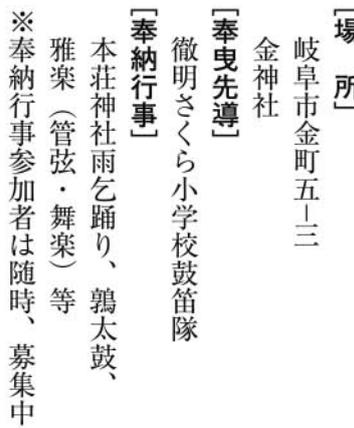
土田白鬚神社

令和七年六月七日(土)午後一時頃
可児市土田二五四八
カヤバ株式会社 岐阜北工場駐車場
御神木奉曳



金神社

令和七年六月七日(土)
午後三時頃 若宮町より
金華橋通りを奉曳
午後四時三十分頃
奉迎祭・奉安祭
午後五時頃 奉納行事



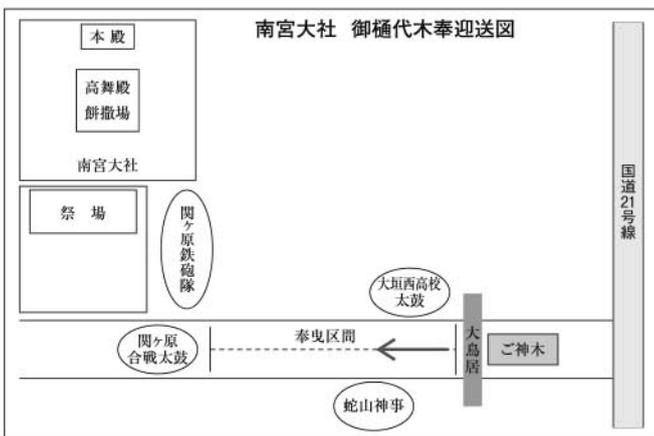
南宮大社

令和七年六月八日(日)
午前九時四十分頃 奉曳開始

〔場所〕
不破郡垂井町宮代一七三四一
南宮大社 大鳥居
南宮大社 楼門前

〔行事〕
蛇山神事 神輿渡御 奉納太鼓 餅撒き等

午前九時に南宮大社大鳥居にご集合ください。



竹鼻 八劔神社

〔日時〕

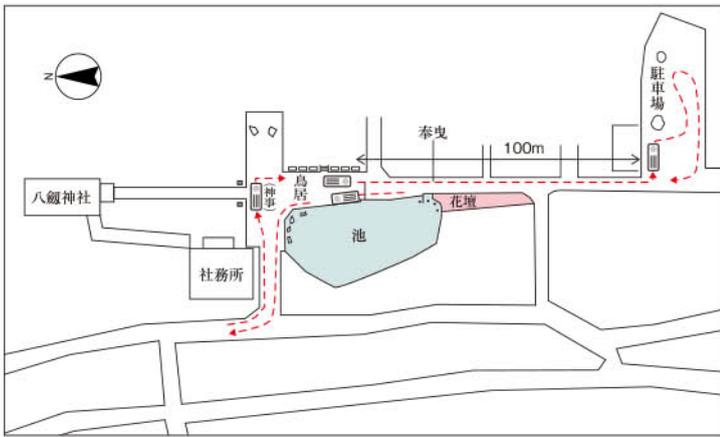
六月八日(日) 午後一時頃
奉搬車到着予定

〔場所〕

羽島市竹鼻町三二九八一
八劔神社

〔行事〕

奉迎祭、奉曳、山車の奉祝展示
午後零時三十分頃、神社正面
鳥居前にご集合ください。

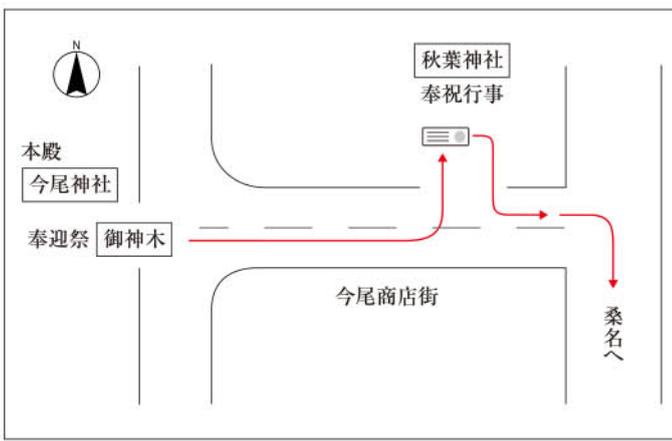


今尾神社

六月八日(日) 午後三時、今尾神社(海津市平田町今尾三〇五五―八)に到着、奉迎祭斎行。今尾商店街を奉賛者と共に奉曳し、秋葉神社に向かふ。

秋葉神社にて、巫女舞と鳴り物の奉納の後、桑名へとお送りします。午後一時半より、半天等の引換へを始めます。

旧神宮外宮御神領の縁により、御神木をお迎へし、美濃国より伊勢国への最後のお立ち寄りとなります。



神職異動 (敬称略)

○新任

八月 一日 土岐 八王子神社 権禰宜 酒井 雅弘

各務原市 愛宕神社 禰宜 長尾 絢子

掛斐郡 塩竈神社 禰宜 高木 博章

十月 一日 瑞浪市 日吉神社 権禰宜 伊佐治正寛

十一月 一日 岐阜市 若宮八幡神社 権禰宜 五藤 超

○退職

八月三十一日 吉城郡 熊野神社 宮司 洞 邦宏

十一月 三十日 大野 白川八幡神社 宮司 東馬 勝

○帰幽

九月 八日 岐阜市 岐阜護國神社 宮司 宇都宮幸嗣

十三日 吉城郡 神明神社 宮司 吉村 博行

行事予定 (二月～六月)

一月 十六日(木) 新年初会

二月 三日(月)～七日(金) 研修会(初任)

七日(金) 教化委員会

十九日(水) 庁長副庁長会

支部教化部長会

御樋代木奉迎送打合会

神宮大麻曆頒布終了奉告祭

役員会

岐阜県神社関係者大会

四月二十三日(水) 庁長副庁長会

五月 九日(金) 東海五県神社庁連合総会(三重県)

十四日(水) 役員会

六月 二十七日(水) 御樋代木奉迎送打合会

御樋代木奉迎送

六月 二十五日(水) 協議員会

第六十三回神宮式年遷宮 ～美しい日本の伝統・文化を未来へ～



御神木

奉迎送



歴史に
参加しましょう

令和7年 6月上旬



御種代木 (通称 御神木) 御種代とは、御神体を納め奉るもっとも神聖な御器の事で、その御種代を奉製する御用材を「御種代木」といいます。一般的に御神木と呼ばれています。

その御神木が伐り出されるのが、長野県の上松町と岐阜県の子母村であります。伐り出された御神木は、県内各地沿道の奉祝奉迎送を受けながら、愛知県側と岐阜県側を通り、両車とも三重県桑名市へ奉搬されます。

岐阜県神社庁

御神木奉迎送予定

中津川市	①護山神社		9:00頃	
	②花街道付知	奉迎	9:30頃	
	福岡総合事務所	お立ち寄り	11:00頃	
	元記	お立ち寄り	13:00頃	
岐阜市	③JR中津川駅前	奉迎	14:30頃	
	④中津川ふるさとにぎわい広場	奉迎祭	16:30頃	
	⑤JR瑞浪駅前	奉迎	9:00頃	
	⑥瑞浪中央公園	奉迎祭	11:00頃	
可児市	⑦土田 白鬚神社	奉迎・奉迎祭	13:00頃	
	岐阜市	⑧金神社	奉迎・奉迎祭・奉迎祭	15:15頃
		不破郡	⑨南宮大社	奉迎・奉迎祭
羽島市	⑩竹鼻 八幡神社	奉迎祭	13:00頃	
	海津市	⑪今尾神社	奉迎・奉迎祭	15:00頃
		(伊勢大橋)		17:00頃